

令和2年度 第2回 摂津市地球温暖化対策地域計画 策定委員会 議事要旨

日時：令和2年11月27日（金） 9:30～11:30

場所：摂津市役所本館3階301会議室

■ 出席者

- | | | | |
|-------------|---------|---|------------------|
| (1) 委員 | 尾崎 平 | (関西大学環境都市工学部都市システム工学科准教授) | |
| | 北川 照子 | (特定非営利活動法人摂津市人材サポート・ビューロー代表理事) | |
| | 島内 嘉紀 | (摂津市商工会事務局長) | |
| | 田中 美津也 | (大阪ガス(株) 地域共創部門近畿圏部北部地域共創チーム
マネージャー) | |
| | 鳥越 喜雄 | (関西電力送配電(株) 大阪支社北摂地域統括長) | |
| | 沖野 豊美 | (大阪府地球温暖化防止活動推進員) | |
| | 田村 友宣 | (大阪府環境農林水産部エネルギー政策課温暖化対策グループ
課長補佐) | |
| | (2) 事務局 | 山本 和憲 | (摂津市生活環境部環境政策課長) |
| | | 中張 功貴 | (摂津市生活環境部環境政策課) |
| 中島 公平 | | (摂津市生活環境部環境政策課) | |
| (3) コンサルタント | 柴田 学 | (株式会社建設技術研究所) | |
| | 梁田 雄太 | (株式会社建設技術研究所) | |

(以上、敬称略)

■ 内容

- はじめに
- 報告事項
 - (1) 地球温暖化対策地域計画策定に係る基礎調査結果について
- 審議事項
 - (1) 摂津市地球温暖化対策地域計画（骨子案）について

■ 配付資料

- 【資料1】 地球温暖化対策地域計画策定に関わる基礎調査報告書
- 【資料2】 摂津市地球温暖化対策地域計画（骨子案）

1. はじめに

- 尾崎会長より開会の挨拶。
- 事務局より配布資料の確認

(1) 審議事項

1) 地球温暖化対策地域計画策定に係る基礎調査結果について

○事務局より【資料1】に基づき説明。

- 委員：事業者アンケート結果について、市の業種実態を担保できている結果になり得ているのか。
- 事務局：アンケートを送付する際、市の業種割合に基づき送付先を抽出した。回答結果と市の実態の業種割合を比較した結果を次回示す。
- 委員：アンケート結果を市の施策へどのように反映していくかが重要となる。大企業は自ら地球温暖化防止対策を実施する傾向があるので、中小企業へ重きを置いた施策を実施していくことが重要である。
- 委員：アンケート結果で見受けられるように、環境に関する情報はテレビから得ることが多い。テレビ放送のコーナーの中でSDGsが取り上げられており、わかりやすく説明している。このように、伝わりやすく・わかりやすい形で、どう取り組むべきか市民への情報提供することが重要である。最近では、LINEを使った情報発信も見られるため、環境家計簿といった取組の周知方法を検討して頂きたい。
- 委員：アンケート結果を見る限り、地球温暖化対策への取組意識は後退しているように見える。特に気候変動に関しては、国も気候危機を取り上げているなど、科学的知見を用いて早急に市民へ対応を訴えがける必要があり、市民と身近な距離感にある地方公共団体の役割は大きい。
- 委員：市民の意識改革が重要であり、民間事業者や市民団体とタイアップした目で見て体験できる機会や環境教育を推進し、市民へのPRを積極的に行ってほしい。事業者は今日明日の問題がある。
- 委員：アンケート結果を見るとポジティブなところもあることから、うまく政策に結び付けてほしい。

2) 摂津市地球温暖化対策地域計画（骨子案）について

○事務局より【資料2】に基づき説明。

- 委員：アンケート結果を踏まえて、次世代の子どもたちへの環境教育は積極的に取り組んで頂きたい。また、近年の気候変動の顕在化を受けて、自立分散型エネルギーの積極的導入はぜひ施策として入れ込んでほしい。
- 委員：現行計画にて掲げている施策による削減効果の進捗は振り返っているの

か。

事務局： 現行計画は進行管理ができていないことが大きな課題の一つとして挙げられている。次期計画では関連する指標を掲げて、しっかり進行管理していきたい。

委員： 骨子案を示していただいた。今回の意見を踏まえて次回委員会では素案・削減目標示してほしい。

委員： 民間事業者では、省エネ導入に向けた補助金の要望が多く寄せられており、市独自の補助金の創設を検討してはどうか。

環境教育は中小企業単独では取り組みが難しいので、環境活動をしている民間団体と連携した取組ができる場の創出を検討してはどうか。

委員： 千里丘駅付近の再開発事業における、環境対策の要素を次期計画では盛り込んでどうか。また、再開発事業に関する計画を提供して頂きたい。

事務局： 可能な範囲で提供できるか検討する。

委員： 先日の菅総理の所信表明演説においても、50年に脱炭素社会の実現を目指すことも宣言しており、脱炭素の潮流が大きくなっている中、大阪府においても次期計画では、50年で脱炭素を目指す方針を掲げる予定である。市町村も同じ方向性を目指してほしい。市長の考えのところも大きいため、事務局で検討して頂きたい。

委員： 大阪府からの情報提供も積極的に行ってほしい。

委員： 各市町村には、適宜情報を提供する。計画の施策について、CO2排出の少ない電気への切り替えも盛り込んでほしい。

委員： 計画素案では以下について適宜記載をして頂きたい。

- ・国内外の地球温暖化等の現状
- ・パリ協定の発効と採択の時期
- ・国・府の温室効果ガス排出量の削減目標
- ・適応策の必要性
- ・摂津市が掲げる目指すべき将来像
- ・高齢化率の推移
- ・削減量の内訳（排出係数改善による効果と省エネ効果を分けて示す）
- ・主体別の取組内容
- ・進行管理の体制と方法についての記述

委員： 基本方針の循環型社会の構築において、4Rの推進とあるが、聞き慣れない表現に思える。事務局で再検討してほしい。

事務局： 次期一般廃棄物処理基本計画の検討を行っている。本計画の骨子は現行計画の名残であり、施策内容は一廃計画と整合を図る。

〔了〕